

第3回放射線治療あすなろ会 総合学術セミナー 開催結果報告書

- 【団体名称】 放射線治療あすなろ会 代表 みやぎ県南中核病院 渡邊 暁
- 【開催日時】 平成30年9月8日(土) 12:00~18:00
- 【会場】 仙台市立病院3階講堂
- 【参加者数】 計201名 (計201名内訳: 青森8、秋田16、岩手13、山形17、宮城46、福島21、新潟17、茨城3、埼玉1、メーカー51、講師7、学生1)

【プログラム】

- 『粒子線治療』 山形大学医学部放射線腫瘍講座 教授 根本 建二 先生
- 『医療情報』 みやぎ県南中核病院 情報診療部 医療情報管理課 係長 坂野 隆明 先生
- 『統計学』 新潟大学医歯学総合病院 放射線治療科 助教 棚邊 哲史 先生
- 『IGRT』 東京ベイ先端医療・幕張クリニック医学物理室 室長 遠山 尚紀 先生
- 『予防規程』 元国立がん研究センター中央病院 放射線部技師長 小高 喜久雄 先生
- 『重粒子線・陽子線・会場討論』 山形大学医学部がんセンター 副診療放射線技師長 鈴木 幸司 先生
南東北がん陽子線治療センター 放射線治療品質管理室 室長 加藤貴弘 先生

【内容】

今回は臨床面で山形大学の根本先生にお越しいただき、粒子線治療に関して、物質中の作用から治療における生物学的な内容、そして現在の山形大学の進行状況をお話しいただいた。そして、技術側として同大学の鈴木先生と南東北がん陽子線治療センターの加藤先生のお二人より、実務面での内容や、参加者から予め収集しておいた質問事項に対して説明を交えお答えいただいた。

粒子線以外の分野では、医療情報に関して、みやぎ県南中核病院の坂野先生より、DICOM規格を理解することによって各種システムの導入の際に成功へ導く方法を学んだ。学術面では、統計学の基礎知識として新潟大学の棚邊先生より各種検定に関する内容を詳しく説明いただき、IGRTの講義では東京ベイ先端医療幕張クリニックの遠山先生よりマージンの考え方を始めとし、IGRTを用いることに対する戦略の立て方や被ばくに至るまでをお話しいただいた。そして、法律面では、元国立がん研究センター中央病院放射線部技師長の小高先生より、法改正に伴い各施設が作成しなければならない放射線障害予防規程に特化し、実務的な内容を詳しくお話しいただいた。今年度も、質疑含め充実した内容であった。



報告書内容に関するお問い合わせ先 新潟県立中央病院 大坂暁胤
025-522-7711(内線 2250) ay11335577@gmail.com